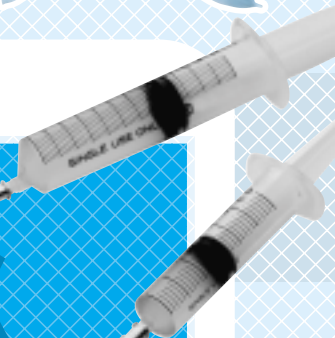




ご協力ください！

病院の廃棄物処理



ア 感染の恐れのない廃棄物

に分けられます。そしてさらに

- ① 一般廃棄物**
- ② 産業廃棄物**

病院から排出される廃棄物は、大きく分けて、

どんな廃棄物が出るの？



最近、産業廃棄物の不法投棄がマスコミでたびたび大きく報道されています。一方、掛川市では「環境資源ギャラリー」が今秋には完成予定で、廃棄物の適正処理が推進されています。そこで今回は、当院の廃棄物はどんなものがどのように処理されているのかを、皆様に知っていただき、病院の廃棄物の適正処理にご協力いただきたいと思います。



① 感染の恐れのある廃棄物（感染性廃棄物）に分けられます。

一般廃棄物は、ご家庭で出るような紙、生ごみなどに代表されるような、通常の焼却炉で処分できるものです。これらは、患者様や付き添いの方、事務の仕事などから排出されるものがほとんどです。

産業廃棄物は、おむつ、プラスチック類、薬びん、金属くずなどで、主に医療行為により排出されます。

感染の恐れのある廃棄物（感染性廃棄物）は、院内から血液や体液などが付着した状態で排出されるものや、その恐れのあるもので、注射針、メス、点滴セット、アンプルなどさまざまなものがあります。

分別処理が重要ですよ



掛川市では、平成13年度からごみの減量とリサイクルの推進に向け、新分別収集が開始となりご家庭でも皆様のご協力により、ごみの分別が徹底して行われています。

病院でも毎日たくさん廃棄物が排出されており、職員一同、廃棄物の適正処理を推進しています。

当院から排出される廃棄物は、表の『掛川市立総合病院廃棄物処理フ

ロー』のとおり分別回収され、専門業者により収集・運搬・処理されています。

感染の恐れのない可燃物は、ご家庭と同じように、紙製ごみ収集袋を使用しています。収集袋は、ごみ置き場に集められ収集運搬業者により焼却場まで運ばれ処分されます

不燃性の産業廃棄物は、廃プラスチック類、びん類、金属類、電池等に分別して、専門業者により処分やリサイクルされています。

病院の中で特に気をつけなければならないものが「感染性廃棄物」です。感染性廃棄物は、形状等によりそれぞれ、感染性廃棄物のマーク（バイオハザードマーク）のついた

- ① 専用ポリ容器**
（鋭利なものや、泥状のものなど）
- ② 専用ダンボール箱**
（鋭利でないもの、ダイアライザーや使い捨ての手袋など）

に分別して入れ、職員や収集業者が



バイオハザードマーク